

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2005-514147

(P2005-514147A)

(43) 公表日 平成17年5月19日(2005.5.19)

(51) Int. Cl. ⁷	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 B 1/00	A 6 1 B 1/00 3 0 0 D	4 C 0 6 1
A 6 1 B 1/06	A 6 1 B 1/06 B	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 27 頁)

(21) 出願番号	特願2003-559330 (P2003-559330)	(71) 出願人	592099488 ジリックス・テクノロジズ・コーポレーション
(86) (22) 出願日	平成15年1月13日 (2003. 1. 13)		
(85) 翻訳文提出日	平成16年7月12日 (2004. 7. 12)		
(86) 国際出願番号	PCT/IB2003/000806		カナダ国, ブリティッシュ コロンビア
(87) 国際公開番号	W02003/059159		ブイ6ブイ 2ブイ4, リッチモンド, コ
(87) 国際公開日	平成15年7月24日 (2003. 7. 24)		マース パークウェイ 100-1377
(31) 優先権主張番号	10/050, 601		5
(32) 優先日	平成14年1月15日 (2002. 1. 15)	(74) 代理人	100078282 弁理士 山本 秀策
(33) 優先権主張国	米国 (US)	(74) 代理人	100062409 弁理士 安村 高明
(81) 指定国	EP (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, SI, SK, TR), JP	(74) 代理人	100113413 弁理士 森下 夏樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カメラ内に移動部品を有さない蛍光内視鏡ビデオシステム

(57) 【要約】

蛍光内視鏡ビデオシステムは、白色光画像化モードおよび蛍光画像化モードのための光を生成するマルチモード光源を備える。光源からの光は、内視鏡を通して、観察下の組織へと伝達される。システムはまた、白色光画像化モードおよび蛍光画像化モードのための小型カメラを備え、この小型カメラは、内視鏡の挿入部分に配置されても、身体の外側の内視鏡の一部に装着されても良い。カメラは、白色光画像化モードおよび蛍光画像化モードの両方ために利用され得、その最も小型の形態では、可動部分を含まない。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

蛍光内視鏡ビデオシステムであって、以下：

種々の光出力を生成するためのマルチモード光源であって、該光源によって生成された光のスペクトル特性を選択的に変化させる多数の光学フィルターを備え、該光フィルターは、以下：

青色光蛍光励起および青色波長における反射画像化のための光源フィルター；

赤色波長における赤色光反射画像化のための光源フィルター；ならびに

緑色波長における緑色光反射画像化のための光源フィルター、

を備え、ここで、該フィルターは、該光源が、蛍光画像化のための白色光画像化または連続蛍光励起のための連続した赤色光、緑色光および青色光を生成し得るように作動可能である、フィルター；

該光源から患者へ該光を指向させて、組織サンプルを照射し、かつ該組織によって生成された反射光および蛍光を収集する、内視鏡；

該内視鏡によって収集された該光を受け取るように配置されたカメラであって、該カメラは、以下：

画像センサ；

低光画像センサ；

該組織サンプルから受け取られた光を2つの光線へと分割し、かつ該2つの光線を該画像センサおよび低光画像センサへ投影するための光線スプリッタ；

所望の波長の光を選択的に伝達するための該低光センサの前面に配置されたフィルター；ならびに

該画像センサおよび低光画像センサの両方へ画像を投影する、1つ以上の光学画像化構成要素；

を備える、カメラ；

該画像センサおよび低光画像センサから受け取られた該画像信号を、ビデオ信号としてデジタル化し、記憶し、処理し、かつコード化するための該カメラに接続された、画像プロセッサ/コントローラ；ならびに

該ビデオ信号を受け取り、そしてそれらを表示する、カラービデオモニタ、を備える、蛍光内視鏡ビデオシステム。

【請求項 2】

前記カメラが、身体の外側にある前記内視鏡の一部に装着されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記カメラが、前記内視鏡の挿入部分に組み込まれる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記光線スプリッタが、前記内視鏡により収集されたより高い割合の光を低光画像化センサに指向させ、より低い割合の光を前記画像化センサに指向させる、請求項 2 または 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

請求項 2 または 3 に記載のシステムであって、前記カメラによって受け取られた光が、実質的に組織蛍光から生じた光および反射蛍光励起光から構成され、そして、該光源から発生する蛍光励起に使用される以外の波長の光から最小限に構成される程度にまで、青色出力のための前記光源光学フィルターが、青色蛍光励起光を伝達し、かつ該カメラへの到達から蛍光検出波長帯の光源からの光を遮断する、システム。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のシステムであって、該低光画像センサにより受け取られた光が、実質的に組織蛍光から構成され、かつ、該光源から発生する光から生じた光からは最小限に構成される程度にまで、低光画像センサの前面に配置されたフィルターが、反射励起光を遮断し、かつ一次蛍光を伝達する、システム。

10

20

30

40

50

【請求項 7】

前記低光画像センサの前面にあるフィルターによって伝達された蛍光が、緑色光である、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記低光センサが、前記光源出力と同期して変化する光感度を有し、それにより、該低光画像センサの光感度は、青色光出力の間はより高く、それ以外の間はより低い、請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記低光画像センサの前面にあるフィルターによって伝達された蛍光が、赤色光である、請求項 6 に記載のシステム。

10

【請求項 10】

前記低光センサが、前記光源出力と同期して変化する光感度を有し、それにより、該低光画像センサの光感度は、青色光出力の間はより高く、それ以外の間はより低い、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

請求項 7 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色光励起の間に前記低光センサにより得られた緑色蛍光から生成された画像および前記画像センサにより得られた青色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

20

【請求項 12】

請求項 9 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色光励起の間に前記低光センサにより得られた赤色蛍光から生成された画像および前記画像センサにより得られた青色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

【請求項 13】

請求項 7 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色光励起の期間の間に前記低光センサにより得られた緑色蛍光から生成された画像、および赤色光照射の期間の間に前記画像センサにより得られた赤色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

30

【請求項 14】

請求項 9 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色光励起の期間の間に前記低光センサにより得られた赤色蛍光から生成された画像、および赤色光照射の期間の間に前記画像センサにより得られた赤色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

【請求項 15】

請求項 7 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色光励起の期間の間に前記低光センサにより得られた緑色蛍光から生成された画像、および緑色光照射の期間の間に前記画像センサにより得られた緑色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

40

【請求項 16】

請求項 9 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色光励起の期間の間に前記低光センサにより得られた赤色蛍光から生成された画像、および緑色光照射の期間の間に前記画像センサにより得られた緑色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

50

【請求項 17】

請求項 7 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色照射の期間の間に前記低光センサにより得られた緑色蛍光から生成された画像、および赤色照射の期間の間に前記画像センサにより得られた赤色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示され、ここで、該複合蛍光/反射画像は、複合カラー画像と同時に表示され、該複合カラー画像は、赤色、緑色、および青色照射の間にそれぞれ、該画像センサにより得られた重ね合わされた赤色、緑色、および青色反射光画像からなる、システム。

【請求項 18】

請求項 7 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色照射の期間の間に前記低光センサにより得られた緑色蛍光から生成された画像、および青色照射の期間の間に前記画像センサにより得られた青色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示され、ここで、該複合蛍光/反射画像は、複合カラー画像と同時に表示され、該複合カラー画像は、赤色、緑色、および青色照射の間にそれぞれ、該画像センサにより得られた重ね合わされた赤色、緑色、および青色反射光画像からなる、システム。

10

【請求項 19】

請求項 9 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、光源青色照射の期間の間に前記低光センサにより得られた赤色蛍光から生成された画像、および緑色照射の期間の間に前記画像センサにより得られた緑色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示され、ここで、該複合蛍光/反射画像は、複合カラー画像と同時に表示され、該複合カラー画像は、赤色、緑色、および青色照射の間にそれぞれ、該画像センサにより得られた重ね合わされた赤色、緑色、および青色反射光画像からなる、システム。

20

【請求項 20】

請求項 9 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色照射の期間の間に前記低光センサにより得られた赤色蛍光から生成された画像、および青色照射の期間の間に前記画像センサにより得られた青色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示され、ここで、該複合蛍光/反射画像は、複合カラー画像と同時に表示され、該複合カラー画像は、赤色、緑色、および青色照射の間にそれぞれ、該画像センサにより得られた重ね合わされた赤色、緑色、および青色反射光画像からなる、システム。

30

【請求項 21】

蛍光内視鏡ビデオシステムであって、以下：

マルチモード光源；

多数の可動光学フィルターであって、青色励起光および青色反射光を生成するためのフィルター、赤色反射光を生成するためのフィルター、および緑色反射光を生成するためのフィルターを備える、可動光学フィルター；

40

該光源の前面にあるフィルターを移動させて、ビデオ視野と同期する連続励起光または赤色、緑色および青色反射光を生成する、機構；

該光源からの光を患者へ指向させて、組織サンプルを照射し、そして該組織により生成された反射光および蛍光を収集する、内視鏡；

該組織から受け取られる光を受け取るように配置されたカメラであって、該カメラは、以下：

画像センサであって、該画像センサの画像平面は、該カメラの前面の画像平面に対して垂直である、画像センサ；

50

低光画像センサであって、該低光画像センサの画像平面は、該カメラの前面の画像平面に対して垂直である、低光画像センサ；

該組織から受け取られた光を、該画像センサへと指向される２つの光線に分割するための、光線スプリッタ；

該画像センサのうちの１つに該２つの光線のうちの１つを指向させるための、鏡；

所望の波長の光を選択的に伝達するための、該低光センサの前面に配置された、フィルター；

画像を該画像センサの両方へと投影する、２つ以上の光学画像構成要素、を備える、カメラ；

該センサから受け取られた画像信号をビデオ信号として記憶し、処理し、そしてコード化するために該画像センサに接続された、画像プロセッサ／コントローラ；ならびに

該ビデオ信号を受け取り、そしてそれらを表示する、カラービデオモニター、を備える、蛍光内視鏡ビデオシステム。

10

【請求項 2 2】

前記カメラが、身体の外側にある前記内視鏡の一部に装着されている、請求項 2 1 に記載のシステム。

【請求項 2 3】

前記光線スプリッタが、前記内視鏡により収集されたより高い割合光を前記低光画像化センサに指向させ、より低い割合光を前記画像化センサに指向させる、請求項 2 2 に記載のシステム。

20

【請求項 2 4】

前記カメラが、前記内視鏡の挿入部分に組み込まれる、請求項 2 1 に記載のシステム。

【請求項 2 5】

前記光線スプリッタが、前記内視鏡により収集されたより高い割合光を前記低光画像化センサに指向させ、より低い割合光を前記画像化センサに指向させる、請求項 2 4 に記載のシステム。

【請求項 2 6】

請求項 2 2 または 2 4 に記載のシステムであって、前記カメラによって受け取られた光が、実質的に組織蛍光から生じた光および反射蛍光励起光から構成され、そして、該光源から発生する蛍光励起に使用される以外の波長の光から最小限に構成される程度にまで、青色光出力のための前記光源光学フィルターが、青色蛍光励起光を伝達し、かつ該カメラへの到達から蛍光検出波長帯の光源からの光を遮断する、システム。

30

【請求項 2 7】

請求項 2 6 に記載のシステムであって、該低光画像センサにより受け取られた光が、実質的に組織蛍光から構成され、かつ、該光源から発生する光からは最小限に構成される程度にまで、低光画像センサの前面にあるフィルターが、反射励起光を遮断し、かつ一次蛍光を伝達する、システム。

【請求項 2 8】

前記低光画像センサの前面にあるフィルターによって伝達された蛍光が、緑色光である、請求項 2 7 に記載のシステム。

40

【請求項 2 9】

前記低光画像センサの前面にあるフィルターによって伝達された蛍光が、赤色光である、請求項 2 7 に記載のシステム。

【請求項 3 0】

前記低光画像センサの光感度が、前記光源出力と同期して変化し、それにより、該低光画像センサの光感度は、青色光出力の間はより高く、それ以外の間はより低い、請求項 2 8 または 2 9 に記載のシステム。

【請求項 3 1】

請求項 2 8 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ／コントローラが、複合蛍光／反射画像を生成し、該複合蛍光／反射画像は、前記低光画像センサによる緑色蛍光

50

から生成された画像および前記画像センサによる青色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

【請求項 3 2】

請求項 2 9 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、前記低光画像センサによる赤色蛍光から生成された画像および前記画像センサによる青色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

【請求項 3 3】

請求項 2 8 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色光励起の期間の間に前記低光センサにより得られた緑色蛍光から生成された画像、および赤色光照射の期間の間に前記画像センサにより得られた赤色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

10

【請求項 3 4】

請求項 2 9 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色光励起の期間の間に前記低光センサにより得られた赤色蛍光から生成された画像、および赤色光照射の期間の間に前記画像センサにより得られた赤色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

20

【請求項 3 5】

請求項 2 8 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色光励起の期間の間に前記低光センサにより得られた緑色蛍光から生成された画像、および緑色光照射の期間の間に前記画像センサにより得られた緑色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

【請求項 3 6】

請求項 2 9 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色光励起の期間の間に前記低光センサにより得られた赤色蛍光から生成された画像、および緑色光照射の期間の間に前記画像センサにより得られた緑色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、システム。

30

【請求項 3 7】

請求項 2 8 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色照射の期間の間に前記低光センサにより得られた緑色蛍光から生成された画像、および赤色照射の期間の間に前記画像センサにより得られた赤色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示され、ここで、該複合蛍光/反射画像は、複合カラー画像と同時に表示され、該複合カラー画像は、赤色、緑色、および青色照射の間にそれぞれ、該画像センサにより得られた赤色、緑色、および青色反射光画像から生成された重ね合わせ画像からなる、システム。

40

【請求項 3 8】

請求項 2 8 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色照射の期間の間に前記低光センサにより得られた緑色蛍光から生成された画像、および青色照射の期間の間に前記画像センサにより得られた青色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示され、ここで、該複合蛍光/反射画像は、複合カラー画像と同時に表示され、該複合カラー画像は、赤色、緑色、および青色照射の間にそれぞれ、該画像センサにより得られた赤色、緑色、および青色反射光画像か

50

ら生成された重ね合わせ画像からなる、システム。

【請求項 39】

請求項 29 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色照射の期間の間に前記低光センサにより得られた赤色蛍光から生成された画像、および緑色照射の期間の間に前記画像センサにより得られた緑色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示され、ここで、該複合蛍光/反射画像は、複合カラー画像と同時に表示され、該複合カラー画像は、赤色、緑色、および青色照射の間にそれぞれ、該画像センサにより得られた赤色、緑色、および青色反射光画像から生成された重ね合わせ画像からなる、システム。

10

【請求項 40】

請求項 29 に記載のシステムであって、前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、青色照射の期間の間に前記低光センサにより得られた赤色蛍光から生成された画像、および青色照射の期間の間に前記画像センサにより得られた青色反射光から生成された画像を含み、該画像は、前記カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示され、ここで、該複合蛍光/反射画像は、複合カラー画像と同時に表示され、該複合カラー画像は、赤色、緑色、および青色照射の間にそれぞれ、該画像センサにより得られた赤色、緑色、および青色反射光画像から生成された重ね合わせ画像からなる、システム。

20

【請求項 41】

蛍光内視鏡ビデオシステムであって、以下：

白色光、蛍光励起光または参照反射光を有する蛍光励起光を生成するための、マルチモード光源；

該光源からの光を患者へと指向させて、組織サンプルを照射し、そして該組織によって生成された反射光または励起光を収集する、内視鏡；

該内視鏡によって収集された光を受け取るように配置されたカメラであって、該カメラは、以下：

色出力を有する一体化フィルターを有する、低光画像センサ；

該低光画像センサの前面に配置された 1 つ以上のフィルターであって、470 nm 未満の波長を有する光を選択的に遮断し、そして 470 nm より大きい波長を有する可視光を伝達するための、フィルター；ならびに

30

画像を該低光カラー画像センサへと投影する、1 つ以上の光学画像構成要素、を備える、カメラ；

画像プロセッサ/コントローラーであって、該低光カラー画像センサからの画像信号を受け取り、蛍光または反射に対する同じ一体化フィルター特性を有するフィルターを有するピクセルからの画像信号を組み合わせて、補間し、次いで、該画像をビデオ信号としてコード化する、画像プロセッサ/コントローラー；ならびに

該低光画像センサのピクセルからの重ね合わせビデオ画像を表示するための、カラービデオモニター、を備える、蛍光内視鏡ビデオシステム。

40

【請求項 42】

前記カメラが、身体の外側にある前記内視鏡の一部に装着されている、請求項 41 に記載のシステム。

【請求項 43】

前記カメラが、前記内視鏡の挿入部分に組み込まれる、請求項 41 に記載のシステム。

【請求項 44】

請求項 42 または 43 に記載のシステムであって、450 nm 未満の波長の蛍光励起光および蛍光検出波長帯にはないある量の参照反射光を同時に伝達する、該光源の光路に配置された光源フィルターをさらに備え、ここで、伝達された参照反射光の量は、該蛍光励起光の分数であり、それにより、該低光カラー画像センサ上に投影された蛍光強度に対する

50

、該低光カラー画像センサ上に投影された反射参照光の強度の比により、異常組織を観察でき、該光源フィルターはまた、蛍光検出波長帯における波長の該光源からの光を遮断し、それにより、該低光カラー画像センサにより受け取られた蛍光が、組織蛍光から生じる光から実質的に構成され、そして該光源から発生する光からは最小限に構成される、システム。

【請求項 4 5】

前記高感度カラー画像センサの前面にある少なくとも 1 つのフィルターによって伝達された蛍光が、緑色光である、請求項 4 4 に記載のシステム。

【請求項 4 6】

前記高感度カラー画像センサの前面にある少なくとも 1 つのフィルターによって伝達された蛍光が、赤色光である、請求項 4 4 に記載のシステム。

10

【請求項 4 7】

前記光源フィルターによって伝達された、前記検出蛍光帯にはない前記参照反射光が、赤色光である、請求項 4 5 に記載のシステム。

【請求項 4 8】

前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、緑色蛍光から生成された画像、および赤色参照光から生成された画像を含み、該画像は、カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、請求項 4 7 に記載のシステム。

【請求項 4 9】

前記光源フィルターによって伝達された、前記検出蛍光帯にはない前記参照反射光が、緑色光である、請求項 4 6 に記載のシステム。

20

【請求項 5 0】

前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、赤色蛍光から生成された画像、および緑色反射光から生成された画像を含み、該画像は、カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、請求項 4 6 に記載のシステム。

【請求項 5 1】

請求項 4 2 または 4 3 に記載のシステムであって、該光源の光路に配置されたフィルターをさらに備え、該フィルターは、前記低光カラー画像センサによって受け取られた光が、組織蛍光から生じた光から実質的に構成され、そして該光源から発生する光からは最小限に構成される程度にまで、450 nm 未満の波長の蛍光励起光を伝達し、該低光カラー画像センサへの 450 nm より長い可視波長の光の到達を遮断する、システム。

30

【請求項 5 2】

前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合蛍光/反射画像を生成し、該複合蛍光/反射画像は、緑色蛍光から生成された画像、および赤色蛍光から生成された画像を含み、該画像は、カラービデオモニター上で重ね合わせられ、そして異なる色で表示される、請求項 5 1 に記載のシステム。

【請求項 5 3】

請求項 4 2 または 4 3 に記載のシステムであって、480 nm 未満の波長の青色光ならびにある量の緑色光および赤色光を同時に伝達する、光源の光路に配置されたフィルターをさらに備え、ここで、該伝達された赤色光および緑色光の量は、伝達された青色光の分数であるように調整され、それにより、灰色表面から反射された場合、前記低光カラー画像センサへと投影された緑色光および赤色光の強度が、前記生じたカラー画像が白色調整されるような様式で、該低光カラー画像センサへとまた投影された青色光の強度と適合する、システム。

40

【請求項 5 4】

前記画像プロセッサ/コントローラーが、複合カラー画像を生成し、該複合カラー画像は、赤色反射光画像、緑色反射光画像、および青色反射光画像を含み、該画像は、カラービデオモニターの赤色チャンネル、緑色チャンネル、および青色チャンネル上にそれぞれ重ね合

50

わせおよび表示される、請求項 5 3 に記載のシステム。

【請求項 5 5】

ビデオフレーム速度で白色光画像および/または自己蛍光画像を生成するためのシステムであって、以下：

連続的な青色光、赤色光および緑色光を生成する光源であって、該青色光は、組織自己蛍光を生成し得る、光源；

該光源からの光をインビボの組織サンプルに送達するための内視鏡；

該内視鏡の遠位先端部に配置されたカメラであって、該カメラは、以下：

画像センサ；

低光画像センサ；

反射青色光の該低光画像センサへの到達を実質的に遮断する、フィルター；ならびに該組織から受け取られた光の割合を該低光画像センサに指向させ、かつ、該組織から受け取られたより低い割合の光を該画像センサに指向させるための、光線スプリッタ、を備える、カメラ；ならびに

該画像センサに接続された画像プロセッサ/コントローラであって、該画像プロセッサ/コントローラは、該画像センサによって得られた赤色、緑色、および青色反射光から生成された画像ならびに青色光にตอบสนองして該低光画像センサによって得られた自己蛍光から生成された自己蛍光画像を記憶する、画像プロセッサ/コントローラ、を備え、ここで、該プロセッサは、赤色、緑色、青色反射光から生成された画像および/または該自己蛍光から生成された画像を白色光もしくは蛍光/反射画像のためのディスプレイに選択的に出力する、システム。

10

20

【請求項 5 6】

ビデオ内視鏡に使用するためのカメラであって、以下：

低光画像センサ；

画像センサ；

固定光線スプリッタであって、光の割合を該低光画像センサに指向させ、より低い割合の光を該画像センサに指向させる、固定光線スプリッタ；

画低光画像センサに到達する反射励起光の量を制限する、フィルター；ならびに

光を該低光画像センサに集中させるための、画像化光学系、

を備え、ここで、該低光画像センサおよび画像センサは、自己蛍光および反射励起光を受け取るように配置された場合、自己蛍光および反射画像を同時に生成し得る、システム。

30

【請求項 5 7】

ビデオフレーム速度で白色光画像および/または自己蛍光画像を生成するためのシステムであって、以下：

光源であって、蛍光励起のための青色光および参照反射光または白色光画像化のために緑色含有量および赤色含有量の低減した改変白色光を生成する、光源；

該光源からの光をインビボの組織サンプルに送達するための内視鏡；

該内視鏡の遠位先端部に配置されたカメラであって、該カメラは、以下：

低光カラー画像センサ；ならびに

反射励起光の該低光画像センサへの到達を実質的に遮断する、フィルター、を備える、カメラ；ならびに

40

該低光カラー画像センサに接続された画像プロセッサ/コントローラであって、該画像プロセッサ/コントローラは、該改変白色光および自己蛍光にตอบสนองして該低光カラー画像センサにより得られた画像からの赤色、緑色および青色反射画像ならびに青色励起光および参照反射光にตอบสนองして該低光カラー画像センサにより得られた画像からの反射画像を生成する、画像プロセッサ/コントローラ、

を備え、ここで、該プロセッサは、白色光画像化または自己蛍光画像に対する赤色、緑色および青色反射画像ならびに蛍光/反射画像化についての反射画像を選択的に出力する、システム。

【請求項 5 8】

50

ビデオフレーム速度で白色光画像および/または自己蛍光画像を生成するためのシステムであって、以下：

光源であって、蛍光励起のための青色光または白色光画像化のために緑色含有量および赤色含有量の低減した改変白色光を生成する、光源；

該光源からの光をインビボの組織サンプルに送達するための内視鏡；

該内視鏡の遠位先端部に配置されたカメラであって、該カメラは、以下：

低光カラー画像センサ；ならびに

反射青色光の該低光カラー画像センサへの到達を実質的に遮断する、フィルター；ならびに

該低光カラー画像センサに接続された画像プロセッサ/コントローラであって、該画像プロセッサ/コントローラは、該改変白色光による該組織サンプルの照射に
10
応答して、該低光カラー画像センサの前面に配置されるか、または一体化されるフィルターの異なる通過帯を通過する光からの画像、および青色励起光による該組織サンプルの照射に
20
応答して、該フィルターの異なる通過帯を通過する光から生成される自己蛍光画像を生成する、画像プロセッサ/コントローラ、
を備え、ここで、該プロセッサ/コントローラは、該改変白色光に
30
応答して生成された画像を該カラーモニターに選択的に出力して、カラーモニターへの複合白色光画像または自己蛍光画像を生成する、システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

(発明の分野)

本発明は、一般的に医療画像化システム、特に蛍光内視鏡ビデオシステムに関連する。

【背景技術】

【0002】

(発明の背景)

蛍光内視鏡は、初期癌の検出および局在化におけるツールとして、正常組織と初期癌が
30
疑われる組織との蛍光応答における差異を利用する。蛍光内視鏡検査の間に励起される蛍光を
40
発する化合物またはフルオロフォアは、好ましくは疑わしい組織内に優先的に蓄積する
50
外因的に適用される光活性薬物であり得るか、または、これらは全ての組織に存在する
60
内因的なフルオロフォアであり得る。後者の場合、組織からの蛍光は、代表的に自己蛍光
70
または天然蛍光と呼ばれる。組織自己蛍光は、代表的に、UVおよび可視スペクトルの青
80
色部分における吸収帯および可視スペクトルの緑色部分から赤色部分における放出帯を有
90
するフルオロフォアに起因する。初期癌と疑われる組織において、自己蛍光スペクトルの
100
緑色部分が有意に抑制される。組織自己蛍光に基づく蛍光内視鏡は、このスペクトル差異
110
を利用し、正常組織と疑わしい組織を区別する。

【0003】

組織における内因性フルオロフォアの濃度および/または定量効率が比較的低いので、
120
これらのフルオロフォアから放出される蛍光は、代表的に肉眼で可視ではない。蛍光内視
130
鏡検査は、結果的に微光画像センサーを利用して行われ、内視鏡によって蛍光を発する組
140
織の画像を得る。これらのセンサーで得られる画像は、ほとんどの場合、ビデオ信号とし
150
てコードされ、そしてカラービデオモニター上に示される。組織自己蛍光を画像化する代
160
表的な蛍光内視鏡ビデオシステムは、Palcicらに発行された米国特許5,507,
170
287号；MacAulayらに発行された米国特許5,590,660号；Palcic
180
らに発行された米国特許第5,827,190号、米国特許出願番号09/615,9
190
65、および米国特許出願番号09/905,642(これらの全ては、参考として本明
200
細書中に援用される)において開示される。これら各々は、Richmond, British
210
Columbia, CanadaのXillix Technologies
220
Corp.(本出願の譲受人)に譲渡されている。

【0004】

10

20

30

40

50

上記の発明において開示されたシステムは、初期癌検出の分野において有意な進歩ではあるが、改良が成され得る。特に、移動部品を除去することにより、これらのシステムに記載されたカメラのサイズ、費用、重量、および複雑性を減少することが望ましい。

【発明の開示】

【課題を解決するための手段】

【0005】

(発明の要旨)

本発明に従う、蛍光内視鏡ビデオシステムは、マルチモードにおいて作動可能な内視鏡光源を備え、白色光、反射光、蛍光励起光、または参照反射光を伴う蛍光励起光のいずれかを生じる。内視鏡は、観察下で光を組織に伝えるための光線ガイドを組み込み、そして観察下で組織からの光を受容するための内視鏡の挿入部分に配置される画像化ガイドまたはカメラのいずれかを備える。組織からの光を受容する、少なくとも1つの微光画像化センサーを備える1つのコンパクトカメラは、複数の画像化モードにおいて作動可能であり、カラー画像またはマルチチャネル蛍光および反射画像を得る。このシステムはさらに、処理されたビデオ画像を表示するカラービデオシグナルおよびカラービデオモニターのような画像センサーにより、作られた画像シグナルをデジタル化し、処理し、そしてコードする画像プロセッサおよびシステムコントローラーを備える。

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

(好ましい実施形態の詳細な説明)

本発明の上記の局面および多くの付随の利点は、添付の図面とともに理解された場合、以下の詳細な説明を参照にしてより良く理解されるのでより容易に理解される。

【0007】

図1Aは、本発明の1つの実施形態に従う、蛍光内視鏡ビデオシステム50のブロック図である。このシステムは、カラー画像および蛍光画像を得るための光線を生成するマルチモード光源52を備える。異なる種類の画像を得るための光源の使用は、以下にさらに詳細に記載される。光源52からの光線は、内視鏡60の照明ガイド54に供給され、次いで画像化されるべき組織サンプル58を照射する。

【0008】

図1Aに示されるように、このシステムはまた、マルチモードカメラ100を備える。このマルチモードカメラ100は、内視鏡60の挿入末端に配置される。組織からの光は、マルチモードカメラ100によって直接捕捉される。内視鏡の挿入末端に配置されたマルチモードカメラ100を備えて、生じる内視鏡60は、有用性において現在市販のビデオ内視鏡(例えば、Olympus CF-240L)と類似するが、従来のカラー画像化に加えて、蛍光/反射画像化および/または蛍光/蛍光画像化に利用される性能を有する、蛍光ビデオ内視鏡として特徴付けられ得る。蛍光/反射画像化および蛍光/蛍光画像化は、以下に詳細に記載される。内視鏡の挿入末端にカメラを配置することにより、ビデオ内視鏡の特有の長所が得られ得る:すなわち、画像が、内視鏡画像化ガイドまたはリレーレンズシステムを介して体外に伝達される場合と比べて、画像を形成するために利用可能な光線および画像分解能が改善される。

【0009】

プロセッサ/コントローラー64は、マルチモードカメラ100および光源52を制御し、そしてビデオモニター66に示されるビデオシグナルを作成する。プロセッサ/コントローラー64は、内視鏡内で経路を決められたワイヤーまたは他のシグナル伝達デバイスにより、マルチモードカメラ100と通じている。あるいは、プロセッサ/コントローラー64とカメラ100との間の通信は、ワイアレス連結で行われ得る。

【0010】

図1Bは、代替の蛍光内視鏡ビデオシステム50のブロック図である。この蛍光内視鏡ビデオシステム50は、内視鏡60がまた、画像ガイド56を内蔵し、そしてマルチモードカメラ100が、体外の内視鏡の外部部分に接続されるという点で、図1Aに示された

ものと異なる。内視鏡 60 により組織から集められた光線は、画像ガイド 56 を介して伝達され、そしてマルチモードカメラ 100 に投影される。画像ガイド 56 を内視鏡 100 に付加すること、および内視鏡の外部末端にマルチモードカメラ 100 を配置すること以外、図 1 B のシステムは、図 1 A に示されるシステムと同一である。

【0011】

図 2 A は、光源 52 の構成要素をより詳細に示す。光源 52 は、アークランプ 70 を備え、このアークランプ 70 は、反射材 72 により囲まれる。本発明の好ましい実施形態において、アークランプ 70 は、高圧水銀アークランプ（例えば、Osram VIP R 150/P24）である。あるいは、他のアークランプ、固体デバイス（例えば、発光ダイオードまたはダイオードレーザー）、または広帯域光源が使用され得るが、高圧水銀ランプが、高い青色光出力、適度にフラットな白色光スペクトルおよび小さなアークサイズの組み合わせのため、現在好ましい。

10

【0012】

アークランプ 70 からの光線は、それぞれ光の回収、スペクトルフィルタリングおよびに焦点合せに適切なオプティクス 74、76、および 78 を介し、内視鏡 60 の光ガイド 54 に結合される。アークランプからの光線は、本システムの作動モードに従って所望の光線の波長を通過するか、または拒否するために作動する 1 つ以上の光学フィルター 76 A、76 B、76 C... によりスペクトル的にフィルター処理される。本明細書で使用される場合、「波長」は、単一波長だけではなく、波長範囲もまた含むように、広く解釈されるべきである。

20

【0013】

光路に沿って伝達される光線量を調節する強度コントロール 80 は、アークランプ 70 と内視鏡光ガイド 54 との間の適切な位置に配置される。強度コントロール 80 は、光ガイド 54 と結合した光線の量を調節する。さらに、シャッター機構 82 は、ランプからの任意の光線が、光ガイドに達することをブロックするために、同じ光学経路に配置され得る。コントローラー 86 は、フィルター 76 A、76 B または 76 C を光線経路の中または外に動かすアクチュエータ 77 を操作する。コントローラー 86 はまた、強度コントロール 80 の位置およびシャッター機構 82 の操作を制御する。

【0014】

フィルター 76 A、76 B、76 C、... の伝達特性、アクチュエータ 77 機構の特性、ならびに光路内へのおよび光路外へのフィルター 76 A、76 B、76 C、... の動作のために利用可能な時間は、種々のカメラの実施形態で使用するのに必要な操作のモードに依存する。必要物は、2 つの分類に分けられる。図 2 で示される光源が、ただ 1 つのフィルターが、画像化モード毎に利用される分類内にある場合、適切なフィルターが、画像化モードが変わる場合にのみ、光路内または光路外に移動される。この場合、アクチュエータ 77 は、およそ 1.0 秒の時間でフィルターを変えることのみが必要である。フィルター 76 A、76 B... の光学フィルター特性は、各々の画像化モードについて調整される。例えば、カラーの画像化のために用いられる、光学フィルター 76 A は、任意のスペクトルのピークを減少させ、アークランプ 70 の色温度を改変し、その結果、出力スペクトルは、太陽光をシミュレートする。光学フィルター 76 B は、蛍光/蛍光画像化モードで用いられるための蛍光励起光のみを伝達し、そして光学フィルター 76 C は、蛍光/反射画像化モードで用いられるための蛍光励起光および参照反射光の両方を伝達する。

30

40

【0015】

第 2 の分類の光源 52 A が、図 2 B に例示される；図 2 A に示される光源との差のみが、説明される。光源 52 A は、各々の画像化モードの間、複数のフィルターを使用する。例えば、ビデオフレームまたはビデオの視野に対応する期間について連続して赤色、緑色、および青色の照射を提供する、光源フィルターは、わずかに異なる時間で各々得られる異なる波長の画像成分でモノクロ画像センサーでカラー画像または複数のスペクトル画像の取得のために用いられ得る。このような迅速なフィルター交換は、図 2 A の光源 52 について必要とされるものとはかなり異なるアクチュエーターを必要とする。図 2 B に示され

50

るように、フィルターは、ビデオの視野またはビデオフレーム速度に同期されるモーターによって回転されるフィルターホイール 79 上に取り付けられる。フィルターホイール 79 におけるそれぞれ青色フィルター 79 A、赤色フィルター 79 B および緑色フィルター 79 C が、図 3 に示される。

【0016】

光源フィルターの伝達特性、フィルターアクチュエーター機構の特性、および 2 つの異なる分類の光源について、光路外へのおよび光路内へのフィルターの動きのために利用可能な時間が、種々のカメラの実施形態の文脈において以下により詳細に記載される。

【0017】

蛍光内視鏡が、一般に白色内視鏡と組み合わされて使用されるので、以下に記載されるマルチモードのカメラ 100 の種々の実施形態の各々の実施形態が、カラーおよび蛍光/反射の画像化ならびに/または蛍光/蛍光画像化の両方について用いられ得る。これらのカメラの実施形態は特に、小型に起因する蛍光ビデオ内視鏡における組み込みおよび動く部品なしで実行される能力をそれ自体に与える。

【0018】

図 4 A に示される、第一の実施形態において、カメラ 100 A は、図 1 A に示されるようにカメラが内視鏡の挿入端部に位置する場合には組織から直接的に、または図 1 B に示されるように組織からカメラへと光を伝達する、内視鏡画像ガイド 56 によってか のい ず れ か で、組織 58 から光を受ける。この光は、モノクロ画像センサ 102 および低光画像センサ 104 に、固定された光学光線スプリッタ 106 によって指向され、この光線スプリッタは、入ってくる光を 2 つのビームに分離する。この光ビームは、組織 58 から受けられる光のより小さい割合が、モノクロ画像センサ 102 の方に指向され、そして入ってくる光のより大きい割合が、低光画像センサ 104 の方へと指向されるように、分離される。この実施形態において、光線スプリッタは、図 5 A ~ 5 C に示されるような、標準的な市販の単一プレート 88、単一立方体 89、または単一薄膜 (p e l l i c l e) 設計 90 であり得る。組織 58 と画像センサとの間の光路が不均一な数の反射 (例えば、単一の成分光線スプリッタから) を含む場合、センサに投影される画像は、左から右へと反転されることに留意するべきである。このような画像の配行は、画像処理によって修正される必要がある。

【0019】

図 4 A において、光視準光学機器 110 は、光線スプリッタ 106 の前に配置され、そして画像化光学機器 112 および 114 は、それぞれ、モノクロ画像センサ 102 および低光画像センサ 104 の直前に配置される。スペクトルフィルタ 118 は、光線スプリッタ 106 と低光画像センサ 104 との間の光路に位置する。あるいは、スペクトルフィルタ 118 は、光線スプリッタ 106 の要素として組み込まれ得る。

【0020】

図 4 B は、カメラ 100 の別の実施形態を示す。カメラ 100 B は、光視準光学機器 110 ならびに画像化光学機器 112 および 114 が排除されており、そして組織と光線スプリッタ 106 との間に配置された、単一のセットの画像化光学機器 113 で置き換えられていることを除いて、上記カメラ 100 A と同じである。この構成の利点は、全ての画像化が、同一の画像化光学機器 113 によって実施され、そして制御されることである。しかし、このような構成は、全てのビーム経路が、同じ光路長を有することを必要とし、そしてこの制限は、光線スプリッタ 106 およびスペクトルフィルタ 118 (これは、低光画像センサ 104 への経路内に位置する) の設計において考慮されなければならない。さらに、これらの光学要素が、収束するビーム経路に位置するという事実は、これらの要素を特定する際、および画像化光学機器 113 の設計において、考慮されなければならない。

【0021】

低光画像センサ 104 は、好ましくは、電荷キャリア増幅 (T e x a s I n s t r u m e n t s T C 2 5 3 または M a r c o n i T e c h n o l o g i e s C C D 6 5

10

20

30

40

50

と同じ型のもの)を伴う電荷結合デバイス、電子ビーム電荷結合デバイス(EBCCD)、強化電荷結合デバイス(ICCD)、電荷注入デバイス(CID)、電荷調節デバイス(CMD)、相補金属酸化物半導体画像センサ(CMOS)または電荷結合デバイス(CCD)型のセンサを備える。モノクロ画像センサ102は、好ましくは、CCDまたはCMOS画像センサである。

【0022】

カメラ100Bの代替の構成が、図4Cに示される。このカメラ100Cのこの実施形態の全ての局面は、両方の画像センサ102および104をカメラの前面に対して垂直に取り付けることによって、カメラの幅を減少させることから生じる差異を除いて、図4Bに示されるカメラ100Bと類似している。この代替の構成において、低光画像センサ104およびモノクロ画像センサ102は、それらの画像平面をカメラの入力画像面に対して垂直にして、取り付けられる。組織58から受け取られた光は、画像化光学機器113によって、光線スプリッタ106を通して画像センサ102および104上に投影される。光線スプリッタ106は、1つのビームとして入ってくる光の一部を、センサ102、104の1つに向ける。第二の光線における、入ってくる光の別の部分は、光線スプリッタ106をまっすぐに通過し、そしてミラー108によって、センサ102、104の他方に向けられる。さらに、第二のセットの画像化光学機器115は、この第二のセンサに対して、より長い光路を考慮するために、利用される。両方のセンサ上に投影される画像は、左から右へと反転しており、そして画像処理によって反転されるべきである。

10

【0023】

図1Aおよび1Bに示されるようなプロセッサ/コントローラ64は、カメラ100から変換された画像信号を受信し、そしてこれらの信号をデジタル化および処理する。次いで、この処理された信号は、ビデオ形式でコード化され、そしてカラービデオモニタ66上に表示される。

20

【0024】

操作者の入力に基づいて、プロセッサ/コントローラ64はまた、蛍光内視鏡ビデオシステムのための制御機能を提供する。これらの制御機能としては、全ての画像化モードにおいてカメラのゲインを制御する、制御信号を提供すること、カメラの画像化モードと光源とを調和させること、およびこの光源に対する光レベル制御信号を提供することが挙げられる。

30

【0025】

異なる波長帯の2つの別個の画像が、本明細書中に記載される蛍光内視鏡ビデオシステムの蛍光画像化モードで獲得される理由、ならびに蛍光/反射率画像化および蛍光/蛍光画像化の性質が、ここで説明される。特定の波長での自己蛍光の強度は、組織が次第に異常になるにつれて(すなわち、正常から明らかな癌に進行するにつれて)変化することが公知である。しかし、自己蛍光のこのような帯の波長から形成された画像を可視化する場合に、病理に起因する信号強度の変化と、画像化の形状および影に起因する信号強度の変化との間を区別することは、容易ではない。画像信号が組織の病理によって有意に影響を受けない波長の帯で得られる、第二の蛍光画像(蛍光/蛍光画像化のために利用される)、または画像信号が組織の病理によっては有意に影響を受けない波長の帯で獲得される反射光画像(組織内での散乱(拡散反射率として公知)を起こした光からなり、蛍光/反射率画像化のために利用される)は、参照信号として使用され得、これを用いて、第一の蛍光画像の信号強度が「正規化」され得る。このような正規化は、先に本明細書中に参考として援用した2つの特許に記載されている:Palcicらに対して発行された、米国特許第5,507,287号は、蛍光/蛍光画像化を記載し、そしてMacAulayらに対して発行された、米国特許第5,590,660号は、蛍光/反射率画像化を記載する。

40

【0026】

正規化を実施するための1つの技術は、2つの画像信号の各々を異なる表示色に割り当てること(例えば、カラービデオモニタの異なる色入力に画像信号を供給することによっ

50

て)である。カラービデオモニタ上に表示される場合、2つの画像は、効果的に組み合わせられて単一の画像を形成し、その組み合わせられた色が、これらの2つの画像からの信号の相対強度を表す。組織内の蛍光から発生する光および組織において散乱を起こした拡散反射光は、両方、類似の空間的強度分布で組織から放出されるので、組み合わせられた画像の色は、別個の画像信号の絶対強度とは無関係であり、そして内視鏡60の、組織サンプル58に対する距離または角度の変化、または他の画像化の幾何学的要因の変化の結果としては、変化しない。しかし、観察される組織の自己蛍光スペクトルの形状に、2つの画像信号の相対強度の変化を生じる変化が存在する場合、このような変化は、表示される画像の色の变化として表される。正規化を実施するための別の技術は、2つの画像における各位置で、ピクセル強度の比を計算することである。次いで、新たな画像が作成され得、ここで、各ピクセルは、計算された比に関連する強度および色を有する。次いで、この新たな画像は、これをカラービデオモニタに供給することによって、表示され得る。

10

【0027】

正常組織と、初期癌の疑いのある組織との間の色の混合は、これらの2つの別個の画像信号の各々に適用されるゲインに依存して、表示される。蛍光画像において、初期癌の疑いのある組織が正常組織とははっきりと異なる色で現れる、最適なゲイン比が存在する。このゲイン比は、操作者に、最良の感度の組み合わせ(疑いのある組織を検出する能力)および特異性(正確に区別する能力)を提供するといわれる。参照画像信号に適用されるゲインが、蛍光画像信号に適用されるゲインと比較して高すぎる場合、疑いがありそうであるが、病理が正常であることがわかる組織領域の数は、増加する。対照的に、参照画像信号に適用される相対ゲインが低すぎる場合、感度が低下し、そして疑いのある組織が、正常組織のように見える。従って、最適なシステム性能のために、画像信号に適用されるゲインの比は、全ての時点で維持されなければならない。ゲイン比の制御は、先に本明細書中に参考として援用された2つの米国特許出願(米国特許出願番号09/615,965および米国特許出願番号09/905,642)に記載されている。

20

【0028】

インビボ分光学は、組織の自己蛍光スペクトルおよび反射率スペクトルにおける差異のどちらが、病理学的基礎を有するかを決定するために使用されている。これらのスペクトルの特性は、蛍光/反射率画像化モードのために必要とされる、自己蛍光および反射光の特定の波長帯、あるいは蛍光/反射率画像化モードのために必要とされる、自己蛍光の特定の2つの波長帯を決定する。スペクトルの特性は組織型に依存するので、重要な自己蛍光帯の波長は、画像化する組織の型に依存し得る。以下に記載の光学フィルタの仕様は、これらのスペクトル特性の結果であり、画像化される組織にとって最適となるように選択される。

30

【0029】

上記のように、光源内のフィルタおよびカメラは、このカメラの画像化モード、試験される組織の型および/または検出される前癌性組織の型について最適化されるべきである。以下に記載の全フィルタは、標準的で市販の構成要素を用いて特別に作製することが可能であるが、伝達の適切な波長範囲および記載の蛍光内視鏡画像についての所望の伝達範囲外を遮断する程度は、このシステムの適切な作動のために重要である。このようなフィルタの仕様における他の組織の重要性(例えば、フィルタ材料の蛍光特性および抗反射コーティングの適切な使用)は、理解されるべきであると考えられる。

40

【0030】

図6A~6Eは、図4A~4Cに示される型のカメラおよび図2Bに示されるような光源を有する蛍光内視鏡システムにおける使用についての好ましいフィルタ特性を示し、このシステムは、蛍光/反射画像化モード、またはカラー画像化モードにおいて操作する。蛍光内視鏡ビデオシステムの幾つかの可能な構成が存在し、これらは、蛍光/反射画像化モード(赤色反射または青色反射のいずれかを有する緑色蛍光、および緑色反射または青色反射のいずれかを有する赤色蛍光を含む)において操作する。利用される特定の構成は、標的の臨床的な器官および適用に依存する。ここで、このフィルタ特性を、これら

50

の4つの構成の各々について記載する。

【0031】

図6Aは、青色フィルター（例えば、フィルター79A）によって伝達された光の成分を示し、このフィルターを使用して、システム光源における励起光を生成する。このフィルターは、370～460nmの波長範囲の光またはこの範囲の波長の任意のサブセットを伝達する。このフィルターによって伝達される光のうちの0.001%未満は、480～750nmの蛍光画像化帯にある（または、この範囲のどのような所望のサブセットも、以下に記載される一次蛍光画像化フィルターおよび参照蛍光画像化フィルターの特定の伝達範囲内である）。

【0032】

図6Bは、赤色フィルター（例えば、フィルター79B）によって伝達された光の成分を示し、このフィルターを使用して、システム光源における赤色反射光を生成する。このフィルターは、590～750nmの波長範囲の光またはこの範囲の波長の任意のサブセットを伝達する。この範囲から外れて伝達される光は、1%を超えるべきではない。

【0033】

図6Cは、緑色フィルター（例えば、フィルター79C）によって伝達された光の成分を示し、このフィルターを使用して、システム光源における緑色反射光を生成する。このフィルターは、480～570nmの波長範囲の光またはこの範囲の波長の任意のサブセットを伝達する。この範囲から外れて伝達される光は、1%を超えるべきではない。

【0034】

図6Dは、緑色スペクトル帯における一次蛍光画像を規定するための、カメラスペクトルフィルター（例えば、フィルター118）によって伝達された光の成分を示す。この構成において、フィルターは、励起光および赤色蛍光を遮断するが、480～570nmの波長範囲の緑色蛍光またはこの範囲の波長の任意のサブセットを伝達する。上記の光源フィルター79Aを有する蛍光内視鏡ビデオシステムにおいて使用される場合、フィルター特性は、480～570nmの波長範囲の外側にある任意の光またはこの範囲の波長の所望のサブセットが、フィルターにより伝達された光に対して0.1%以下まで寄与するようなものである。

【0035】

図6Eは、赤色スペクトル帯における一次蛍光画像を規定するための、カメラフィルター（例えば、フィルター118）によって伝達された光の成分を示す。この構成において、フィルターは、励起光および緑色蛍光を遮断するが、590～750nmの波長範囲の赤色蛍光またはこの範囲の波長の任意のサブセットを伝達する。上記の光源フィルター79Aを有する蛍光内視鏡ビデオシステムにおいて使用される場合、フィルター特性は、590～750nmの波長範囲の外側にある任意の光またはこの範囲の波長の所望のサブセットが、フィルターにより伝達された光に対して0.1%以下まで寄与するようなものである。

【0036】

蛍光内視鏡ビデオシステムの好ましい実施形態の操作を、ここで記載する。図4Aに示されるカメラ100Aおよび図4Bに示されるカメラ100Bまたは図4Cに示されるカメラ100Cは、カラー画像化モードおよび蛍光/反射画像化モードにおいて操作し得る。ビデオフレームまたは視野ごとに異なる出力を提供する、図2Bに示される型の光源が、必要である。カラー画像化モードにおいて、プロセッサ/コントローラ64は、マルチモード光源52に制御信号を提供し、このことは、光源は、白色光モードにおいて操作し、そして同期化信号を提供するべきであることを示す。光源52は、画像センサ102および104のビデオ視野またはフレームと同期的に、フィルター処理された赤色光、緑色光、および青色光を連続的に出力する。光源52からのフィルター処理された光は、内視鏡光ガイド54に投影され、そして内視鏡60の先端部に伝達されて、組織58を照射する。

【0037】

10

20

30

40

50

プロセッサ/コントローラ64はまた、センサの増幅段階のゲインを減少させることによって、カラー画像化の間、高感度低光画像センサ104を保護する。組織58によって反射された光は、内視鏡画像ガイド56によって収集され、そしてカメラ(ここで、光が、モノクロ画像センサ102上へ光線スプリッタ106を通過して投影される)へと伝達されるか、または光は、センサが、内視鏡の挿入部分内に位置する場合、カメラ光線スプリッタ106を通過してモノクロ画像センサ102へと直接投影される。赤色照射、緑色照射および青色照射の各々の間に投影された画像は、モノクロ画像センサ102によって変換され、そして得られる画像信号は、プロセッサ/コントローラ64に伝達される。

【0038】

10

捕捉された画像の輝度に基づいて、プロセッサ/コントローラ64は、マルチモード光源52に制御信号を提供して、強度コントロール80を調整し、それにより、内視鏡光ガイド54による光出力のレベルを調整する。プロセッサ/コントローラ64はまた、カメラ100A、100Bまたは100Cに制御信号を送り、モノクロ画像センサ102のゲインを調整する。

【0039】

プロセッサ/コントローラ64は、赤色、緑色、および青色照射の連続した期間の間に得られる画像を補間して、全期間の間の完全なカラー画像を生成し、そしてそのカラー画像をビデオ信号として暗号化する。このビデオ信号は、カラー画像の表示のためにカラービデオモニター66に接続される。全ての画像化操作は、アナログビデオ表示速度(NTSC形式については1秒あたり30フレーム、およびPAL形式については1秒あたり25フレーム)で生じる。

20

【0040】

蛍光/反射画像化モードに切り換える場合、プロセッサ/コントローラ64は、マルチモード光源52に制御信号を提供し、蛍光/反射モードで操作するべきであることを示す。この信号に回答して、光源フィルターホイール79は、回転を止め、そして光源52は、アークランプ70と内視鏡光ガイド54との間の光路への適切な青色光学フィルター79Aを連続的に選択および配置する。連続的に変化するフィルターから静的フィルターへのこの変化は、およそ1秒の期間で生じる。フィルター79Aは、試験下で組織58が蛍光を誘導する光の波長のみを伝達する。全ての他の光の波長は、上記のように実質的に遮断される。フィルター処理された光は、次いで、内視鏡光ガイド54へと投影され、そして内視鏡60の先端部に伝達されて、組織58を照射する。

30

【0041】

蛍光/反射モードにおけるシステムを設定する段として、プロセッサ/コントローラ64はまた、低光画像センサ104の増幅段階のゲインを増加させる。放射された蛍光および組織58によって反射された励起光は、内視鏡画像ガイド56によって収集され、カメラ光線スプリッタ106を通過して低光画像センサ104および画像センサ102へと投影されるか、またはそれらの光は、収集され、カメラ光線スプリッタ106と通して、内視鏡60の挿入先端部において、低光画像センサ104および画像センサ102へ直接投影されるかのいずれかとなる。スペクトルフィルター118は、低光画像センサ104に伝達される光を緑色自己蛍光のみか、または赤色自己蛍光のみかのいずれかに制限し、励起波長帯の光を実質的に遮断する。自己蛍光画像は、低光画像センサ104によって変換される。参照反射励起光画像は、モノクロ画像センサ102によって変換され、そして得られる画像信号は、プロセッサ/コントローラ64に伝達される。

40

【0042】

伝達された画像の輝度に基づいて、プロセッサ/コントローラ64は、マルチモード光源52に制御信号を提供して、強度制御80を調節し、それによって内視鏡60へ送達される光のレベルを調節し得る。プロセッサ/コントローラ64はまた、制御信号をカメラ100A、100Bまたは100Cに送って、低光画像センサ104およびモノクロ画像センサ102のゲインを調節して、相対ゲインを一定に維持しながら、一定の画

50

像の輝度を維持し得る。

【0043】

処理の後、2つのセンサからの画像は、プロセッサ/コントローラ64によってビデオ信号としてコード化される。蛍光/反射画像は、ビデオ信号を、カラービデオモニター66上の異なるカラー入力に適用することによって表示される。

【0044】

組み合わされた画像が最適な臨床的意味を有するように、組織によって放射されそしてシステムによって受容される参照光信号に対する蛍光の所定の割合のために、ビデオモニターに表示される処理された画像信号の間に、一定の比率がまた、存在しなければならない。これは、蛍光内視鏡ビデオシステムの(光)信号応答が、校正されることを意味する。校正技術は、先に、本明細書中において参考として援用された2つの特許出願(米国特許出願番号09/615,965、および米国特許出願番号09/905,642号に記載される。

10

【0045】

カメラ100A、100B、100Cが、赤色照射、緑色照射および青色照射を用いて蛍光画像および反射画像を同時に得るために、あるバリエーションの蛍光/反射モードで操作され得る。システムの操作は、カラー画像化について先に記載された操作と類似であり、カラー画像化モードからの差異の点のみが記載される。

【0046】

蛍光/反射モードのこのバリエーションにおいて、カラー画像化から蛍光/反射画像化に切り換えるときに、連続的な赤色照射、緑色照射および青色照射から静的な青色照射に変更する代わりに、マルチモード光源52は、全ての画像化モードについてカラー画像化モードで利用される同じ連続的照射を提供する。組織によって反射される光の捕捉および表示は、カラー画像化モードについて先に記載されたものと類似する。しかし、そのモードで捕捉される反射画像に加えて、低光画像センサ104の増幅段階のゲインは、青色照射の間、自己蛍光画像を捕捉することを可能にする値に調節される。赤色照射および緑色照射の間、低光画像センサの増幅段階のゲインは、センサを保護するために減少され、画像センサ102が、反射画像を捕捉する。

20

【0047】

この蛍光/反射モードにおいて、カメラは、赤色照射および緑色照射の間の反射光画像に加えて、青色照射の間に反射画像および蛍光画像の両方を捕捉する。カラー画像化モードについて、反射画像は、補間され、カラー画像を作成するために、カラービデオモニターの対応する赤色チャネル、緑色チャネルおよび青色チャネルに表示される。先に記載された蛍光/反射モードと同様に、蛍光/反射画像は、蛍光画像および1つ以上の反射画像を重ねることによって作成され、カラービデオモニター上で異なる色で示される。

30

【0048】

個々の反射画像および蛍光画像が同時に捕捉されるので、カラー画像および蛍光/反射画像の両方が、カラービデオモニター上に同時に示され得る。この場合、別々のカラー画像化モードを利用する必要はない。あるいは、蛍光/反射操作の先のバージョンについて記載されるように、蛍光/反射画像のみが、蛍光/反射画像化の間に表示され得、カラー画像は、カラー画像化モードでのみ表示され得る。

40

【0049】

本発明のなお別の実施形態は、ここで記載される。第1の実施形態との全ての点の類似性は、理解されるとみなされ、異なる点のみが、記載される。

【0050】

この第2の実施形態において、蛍光内視鏡ビデオシステムの全ての局面は、カメラおよび光源を除いて第1の実施形態と類似する。システムのこの実施形態についてのカメラ100Dは、図7Aに示される。これは、上記カメラ100A、100B、または100Cとは、全ての画像化モードが単一の低光カラー画像センサ103(好ましくは、Texas Instruments TC252のような電荷キャリア増幅を備えるカラーCD

50

)を利用すること、および光線スプリッターが必要とされないことにおいて異なる。あるいは、カラー画像センサ103は、電荷キャリア増幅カラー画像センサアセンブリを備える3-CCD、カラーCCD、3-CCDカラー画像センサアセンブリ、カラーCMOS画像センサ、または3-CMOS画像センサ、または3-CMOSカラー画像センサアセンブリであり得る。

【0051】

低光カラーセンサ103上のピクセル素子の各々は、集積化フィルター（代表的には、赤色、緑色または青色）によってカバーされる。これらのフィルターは、個々のピクセル素子に達する蛍光および反射光の波長帯を規定する。このようなモザイクフィルターは、代表的に、赤色通過帯と、緑色通過帯と、青色通過帯との間でかなりの重複を有し、これは、強力な反射励起光の存在下で、薄い自己蛍光を画像化する場合、かなりのクロストークを引き起こし得る。従って、反射励起光の強度を、自己蛍光のレベルと同じレベルまで減少させ、同時に自己蛍光を伝達させるために、別のフィルター118が提供される。

10

【0052】

この実施形態において、一次蛍光および参照画像は、同じ画像センサ103上に投影されるが、各ピクセル上に配置される個々のフィルターに起因して、これらの異なる画像は、別のセンサピクセルによって検出される。結果として、個々の一次蛍光および参照画像信号は、単一のCCD画像信号から、プロセッサ/コントローラ64によって作成され得る。

【0053】

図7Aにおいて、光視準化光学機器110は、組織58とフィルター118との間に配置され、そして画像化光学機器112は、カラー画像センサ103の直前に配置される。代替の光学構成において、カメラ100E（図7Bに示される）は、視準光学機器110および画像化光学機器112を排除し、それらを、組織58とフィルター118との間に配置された単一の画像化光学機器113に置き換える。この構成の利点は、全ての画像化が実施され、そして同じ画像化光学機器113によって制御されることである。フィルター118が収束光線経路に配置されるという事実は、その素子を特定する際、および画像化光学機器の設計の際に考慮されなければならない。

20

【0054】

図7Aのカメラ100Dまたは図7Bの100Eに基づくシステムの操作がここで記載される。カメラ100Dおよび100Eは、カラー画像化モード、蛍光/蛍光画像化モード、および蛍光/反射画像化モードで操作可能である。カメラ100Dまたは100Eに基づくシステムについて、図2Aに示される型の光源は、各画像化モードにおける安定状態出力を提供する。下記のように、光源フィルター76A、76B、および76C、フィルター118、および画像センサ103と集積化されたモザイクカラーフィルターの光伝達の仕様は、カラー画像センサの活性素子における反射光および蛍光の強度が、良好な信号対雑音特性を有し、有意な飽和を有さない伝達される画像信号を生じるように、選択される。同時に、これらのフィルターは、一次蛍光の励起および画像化のため、およびカラー画像化のために適切な光伝達の仕様を有する。フィルター伝達特性は、画像センサにおいて相対的な一次蛍光強度対参照光強度の所望の比を提供するように選択される。

30

40

【0055】

カラー画像化モードにおいて、プロセッサ/コントローラ64は、マルチモード光源52（白色光モードであるべきである）に制御信号を提供する。光源は、適切な光学ファイバー76Aを、アークランプ70と内視鏡光ガイド54との間の光路内に選択しそして位置付ける。カメラ100D、100Eのフィルター118（これは、青色波長の励起光の伝達を減少している）を考慮すると、光源フィルター76Aは、赤色成分、緑色成分、および青色成分の適切な割合を有する、バランスのとれたカラー画像を画像センサ103において得るために、赤色および緑色の波長での減少した伝達を組み込むべきである。

【0056】

カラー低光センサ103からの画像信号は、プロセッサ/コントローラ64によっ

50

て処理される。標準的な技術を使用して、単一のカラーセンサからのカラー画像を作成する：同じフィルター特性を有するピクセルからの画像信号は、プロセッサ/コントローラ64によって補間されて、モザイクフィルター（例えば、赤色、緑色、および青色）の各素子の通過帯に関連する画像信号を、各ピクセル位置において作成する。得られた複数の画像（これは、組み合わせた場合、カラー画像を作成する）は、ビデオ信号として、プロセッサ/コントローラ64によってコード化される。カラー画像は、ビデオ信号をカラービデオモニター66の適切な入力に接続することによって表示される。

【0057】

プロセッサ/コントローラ64はまた、各ピクセルにおける画像信号の輝度をモニタリングし、そして光源出力の強度およびカメラ増幅器ゲインをプログラムされたアルゴリズムに従って、調節することによって、全体的な画像の輝度を設定レベルに維持する。

10

【0058】

蛍光/蛍光画像化モードに切り換える場合、プロセッサ/コントローラ64は、蛍光/蛍光モードにあるべきであることを示すために、マルチモード光源52に、制御シグナルを提供する。光源52は、光源フィルター76Bを、光線の位置に移動させる。フィルター76Bは、以下に記載されるように、励起光を伝達し、そして緑色および赤色の蛍光検出波長の光の伝達を遮断する。カラーセンサ103におけるモザイクフィルター素子とともに、光源蛍光フィルター76Bおよび励起フィルター118の特性は、カラーセンサにおける青色光の強度が、センサにおける赤色および緑色の自己蛍光の強度未満であるような特性であり、そしてカラーセンサ103における赤色自己蛍光の強度対緑色自己蛍光強度の比が、正常組織と異常組織との間の最適な差異のために適切な値を有するよう

20

【0059】

ような特性である。蛍光画像が、カラー画像化について先に記載されたように、プロセッサ/コントローラ64によって処理されて、モザイクフィルター（例えば、赤色、緑色、および青色）の通過帯の各々に対応する別々の画像を作成する。これらの別々の画像は、プロセッサ/コントローラ64によってビデオ信号としてコード化される。複合蛍光/蛍光画像は、モザイクフィルターの赤色および緑色通過帯からのビデオ信号を、モニターの異なるカラー入力へ適用することによって、カラービデオモニター66に表示される。

30

【0060】

上に示されるように、光源およびカメラのフィルターは、カメラの画像化モード、試験される組織の型、および/または検出される前癌組織の型について最適化されるべきである。以下に記載される全てのフィルターが、標準的な市販の成分を使用して注文するように作製され得るが、適切な波長範囲の伝達および記載される蛍光内視鏡画像モードについ

40

50

ての所望の伝達範囲の外側の遮断の程度が、システムの適切な操作に重要である。このようなフィルター仕様における他の問題（例えば、フィルター材料の蛍光特性および反射防止コーティングの適切な使用）の重要性は、理解される。

【0061】

上で考察されるように、光源およびカメラのフィルターは、インビボ分光測定に基づいて、カメラの画像化モード、試験される組織の型、および/または検査される前癌組織の型について最適化されるべきである。蛍光/反射画像化モード、または蛍光/蛍光画像化モードにおいて作動する、図7Aおよび7Bに示される型のカメラとともに蛍光内視鏡ビデオシステムにおいて使用するための好ましいフィルター特性は、図8A~8Fに示される。赤色反射を伴う緑色蛍光、および緑色反射を伴う赤色蛍光、ならびに青色反射を伴う赤色蛍光または緑色蛍光を含む、蛍光/反射画像化モードにおいて作動する、蛍光内視鏡ビデオシステムのいくつかの可能な構成が存在する。利用される特定の構成は、標的の臨床器官および適用に依存する。フィルターの特徴は、ここで、これら4つの構成のそれぞれについて記載される。

10

【0062】

図8A~8Bは、カラー画像化モードのためのフィルターによって伝達される光の好ましい成分を図示する。図8Aは、光源フィルター（例えば、フィルター76A）によって伝達される光の成分を図示し、これは、カラー画像化に対する光を作製するために使用される。スペクトルフィルター118は、カラー画像化の間、適所のままである。なぜなら、本カメラの実施形態において、移動する部品がないからである。従って、カラー画像化の間の正確なカラー描写を達成するために、高い感度のカラーセンサ103によって受信される光が、白色反射標準がカメラで見られた場合に白色であるように、カラー画像化のための通常の白色光伝達と比較して、光源フィルター76Aの伝達が改変されることが必要である。従って、スペクトルフィルター118の影響のバランスをとるために、赤色および緑色のスペクトル帯におけるフィルター76Aの伝達が、青色における伝達よりも低くしなければならず、そして青色におけるフィルター76Aの伝達は、フィルター118の認知可能な伝達の短い波長領域と重なりがある十分な長い波長まで拡張されなければならない。フィルター76Aは、370~480nmまたはこの範囲内の任意のサブセットの波長の青色波長範囲の光を、最大の可能な伝達で伝達させる。500~750nmまたはこの範囲内の任意のサブセットの波長の緑色および赤色の波長範囲におけるフィルター76Aの伝達は、好ましくは、フィルター118の影響を考慮した後に、高い感度のカラーセンサ103においてバランスのとれたカラー画像を達成するために、青色の伝達と比較して、少なくとも10分の1に減少される。

20

30

【0063】

図8Bは、スペクトルフィルター118によって伝達される光の成分を示し、これは、全ての画像化モードにおいて使用される。この構成において、フィルターは、範囲370~450nmにおいて青色励起光を遮断し、一方で、470~750nmの波長範囲またはこの範囲内の任意のサブセットの波長の赤色光および緑色光を伝達する。上記光源フィルター76Aとともに、蛍光内視鏡ビデオシステムにおいて使用される場合、フィルターの特性は、センサのモザイクフィルターの異なる領域によって伝達される波長帯における高感度のカラーセンサ103によって捕捉される光の強度が、白色反射標準が画像化される場合に匹敵するような特性である。以下に記載の光源フィルター76Bとともに蛍光/蛍光画像化のための蛍光内視鏡ビデオシステムにおいて使用される場合、フィルターの特性は、470~750nmの波長範囲（またはこの範囲内の波長の任意の所望のサブセット）の外側の任意の光が、フィルターによって伝達される光に対して0.1%以下で寄与するような特性である。

40

【0064】

図8Cは、フィルター（例えば、フィルター76B）によって伝達される光の成分を図示し、これは、システム光源において励起光を作製するために使用される。このフィルターは、370~450nmの波長範囲またはこの範囲内の波長の任意の所望のサブセット

50

において光を伝達する。このフィルターによって伝達される光のうち、好ましくは、0.001%未満が、470～750nmの蛍光画像化帯にある（または、この範囲のどんな所望のサブセットも、高感度カラーセンサ103に組み込まれるモザイクフィルターの伝達によって規定される一次蛍光および参照蛍光の波長帯の伝達範囲内にある）。

【0065】

図8Dは、光源フィルター（例えば、フィルター76C）によって伝達された光の組成を示し、このフィルターを使用して、緑色蛍光画像化モードおよび赤色反射画像化モードについての青色励起光および赤色参照光を生成する。このフィルターは、370～450nmの範囲の青色波長の光、またはこの範囲の任意のサブセットの波長の光を伝達する。フィルターはまた、590～750nmの範囲の赤色波長の光、またはこの範囲の任意のサブセットの波長の光を伝達する。赤色波長範囲（またはその範囲のサブセット）において伝達される光は、青色波長範囲において伝達される光の適切な断片であるように、システム設計の一部として調整される。この断片は、センサの要件に対してカラー画像センサ上に投影された反射参照光の強度が、十分な蛍光励起を維持しながら同時に適合するという必要性を満たすように選択される。このフィルターによって伝達される光のうちの0.001%未満は、470～570nmの緑色波長範囲にある（すなわち、この範囲の所望のセットが、一次蛍光波長帯の伝達範囲として特定される場合はいつでも）。

10

【0066】

図8Eは、光源フィルターによって伝達された光の組成を示し、このフィルター（例えば、上記のフィルター76C）を使用して、赤色蛍光画像化モードおよび緑色反射画像化モードについての励起光を生成する。このフィルターは、370～450nmの範囲の青色波長の光、またはこの範囲の任意のサブセットの波長の光を伝達する。フィルターはまた、470～570nmの範囲の緑色波長範囲の光、またはこの範囲の任意のサブセットの波長の光を伝達する。緑色波長範囲（またはその範囲のサブセット）において伝達される光は、青色波長範囲において伝達される光の適切な断片であるように、システム設計の一部として調整される。この断片は、センサの要件に対してカラー画像センサ上に投影された反射参照光の強度が、十分な蛍光励起を維持しながら同時に適合するという必要性を満たすように選択される。このフィルターによって伝達される光のうちの0.001%未満は、590～750nmの赤色蛍光画像化波長範囲にある（すなわち、この範囲の所望のセットが、一次蛍光波長帯の伝達範囲として特定される場合はいつでも）。

20

30

【0067】

図8Fは、光源フィルターによって伝達された光の組成を示し、このフィルター（例えば、上記のフィルター76C）を使用して、赤色蛍光画像化モードまたは緑色蛍光画像化モードおよび青色反射画像化モードについての励起光を生成する。このフィルターは、370～470nmの範囲の青色波長の光、またはこの範囲の任意のサブセットの波長の光を伝達する。450～470nmの波長範囲（またはその範囲のサブセット）において伝達される光は、センサの要件に対してカラー画像センサ上に投影された反射参照光の強度に適合し、かつ、蛍光に対する参照反射光の適切な比率を提供するように、十分な蛍光励起を維持しながら同時に適合するという必要性を満たすように、システム設計の一部として調節される。このフィルターによって伝達される光のうちの0.001%未満は、490～750nmの赤色蛍光画像化波長範囲にある（すなわち、この範囲の所望のセットが、一次蛍光波長帯の伝達範囲として特定される場合はいつでも）。

40

【0068】

上記実施形態において記載される蛍光内視鏡ビデオシステムは、内因性組織蛍光を画像化するために最適化される。それらは、この適用に限定されず、しかし、光動的診断（PDD）適用にもまた、使用され得る。上記のように、PDD適用は、光活性薬剤を利用し、この薬剤は、初期の癌であると疑われる組織に優先的に集積する。このような薬物の効果的なバージョンは、現在開発段階にあるので、本発明は、このような薬物について最適化されるフィルター特性を特定しない。しかし、適切な光源とカメラフィルターとの組み合わせにより、本明細書に記載されるように、蛍光/蛍光画像化モードまたは蛍光/反射

50

画像化モードのいずれかにおいて作動する蛍光内視鏡ビデオシステムを使用して、このような薬物から蛍光を画像化し得る。

【0069】

理解されるように、上記の蛍光内視鏡ビデオシステムについてのカメラの各々の実施形態は、それらの簡素性に起因して、蛍光ビデオ内視鏡において、当然、小型化および現実化に適しており、そして、カメラは、内視鏡の挿入部分に組み込まれる。このカメラは、色画像化および蛍光画像化の両方のために利用され得、それらの最も小型の形態では、可動部分を含まない。

【図面の簡単な説明】

【0070】

10

【図1A】図1Aは、本発明の1つの実施形態に従う、蛍光内視鏡ビデオシステムのブロック図である。

【図1B】1Bは、本発明の1つの実施形態に従う、蛍光内視鏡ビデオシステムのブロック図である。

【図2】図2A～2Bは、本発明の異なる実施形態に従う、マルチモード光源のブロック図である。

【図3】図3は、マルチモード光源のためのフィルターホイールおよび光学的フィルターを示す。

【図4A】図4Aは、視準および画像化オプティクスのための任意の配置を有する、本発明の1つの実施形態に従うカラー画像および/または蛍光/反射画像を得ることが可能なカメラの多くの代替の実施形態を図示する。

20

【図4B】図4Bは、視準および画像化オプティクスのための任意の配置を有する、本発明の1つの実施形態に従うカラー画像および/または蛍光/反射画像を得ることが可能なカメラの多くの代替の実施形態を図示する。

【図4C】図4Cは、視準および画像化オプティクスのための任意の配置を有する、本発明の1つの実施形態に従うカラー画像および/または蛍光/反射画像を得ることが可能なカメラの多くの代替の実施形態を図示する。

【図5】図5A～5Cは、多くのカメラビームスプリッタ構造を図示する。

【図6】図6A～6Eは、図4A～4Cに示されるカメラの実施形態を用いた、カラー画像化および蛍光/反射画像化に利用されるフィルターの現在好ましい伝達性質を図示するグラフである。

30

【図7】図7A～7Bは、視準および画像化オプティクスのための任意の配置を有する、本発明の1つの実施形態に従うカラー画像、蛍光/反射画像および/または蛍光/蛍光画像を得ることが可能な、本発明に従うカメラのさらなる実施形態を図示する。

【図8】図8A～8Fは、図7A～7Bに示されるカメラ実施形態を用いるカラー画像化、蛍光/蛍光画像化および蛍光/反射画像化のためのフィルターの現在好ましい伝達性質を図示するグラフである。

【 図 1 A 】

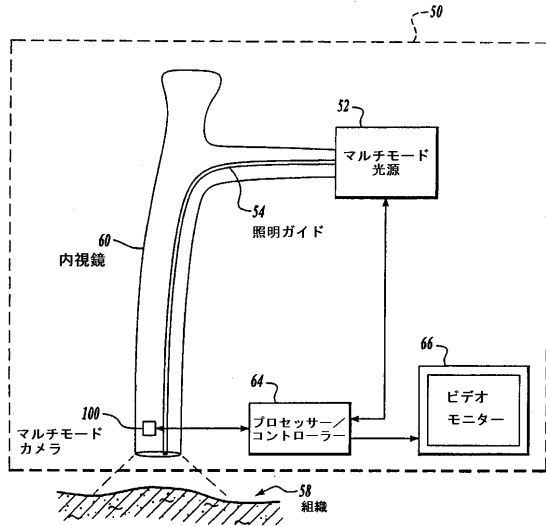


Fig. 1A.

【 図 1 B 】

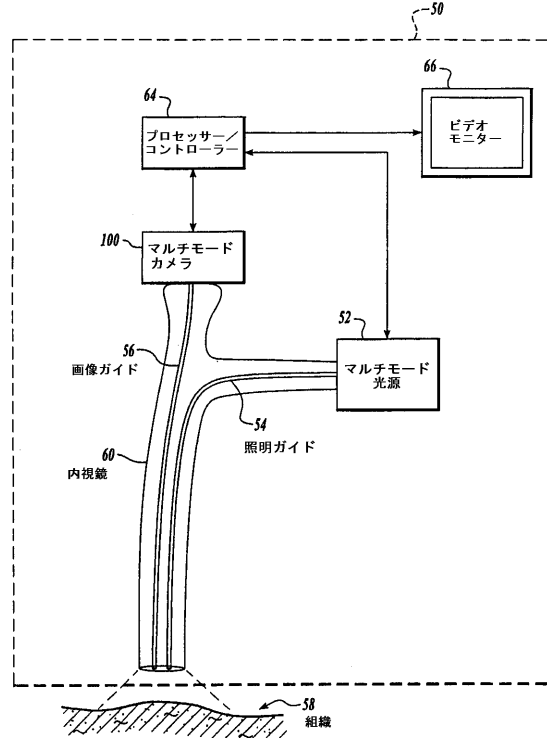


Fig. 1B.

【 図 2 】

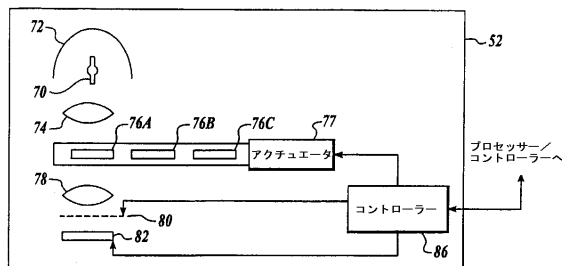


Fig. 2A.

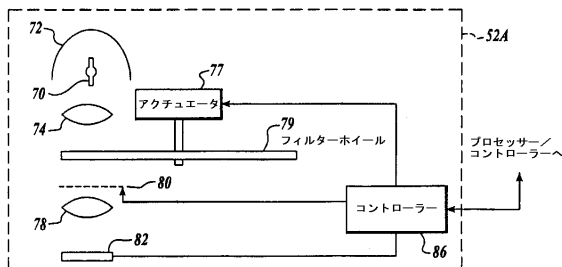
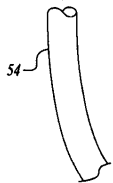


Fig. 2B.



【 図 3 】

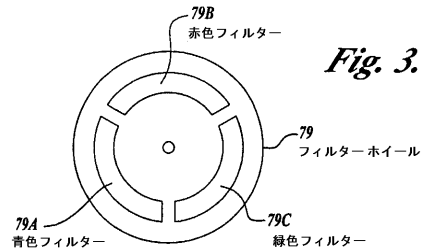


Fig. 3.

【 図 4 A 】

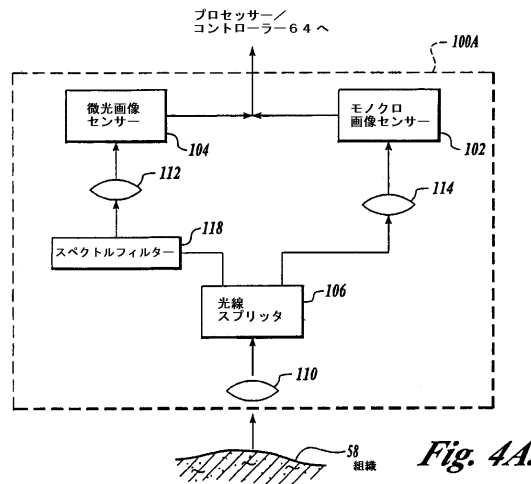


Fig. 4A.

【図 4 B】

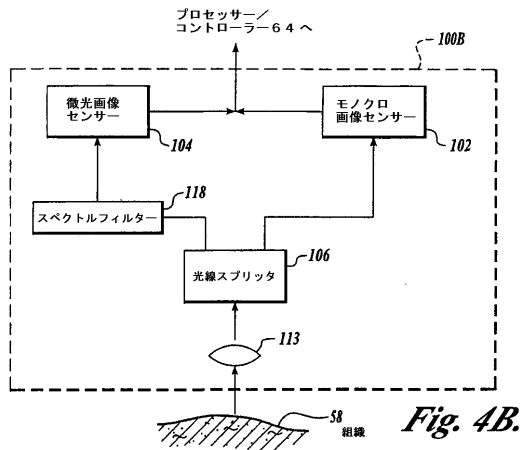


Fig. 4B.

【図 4 C】

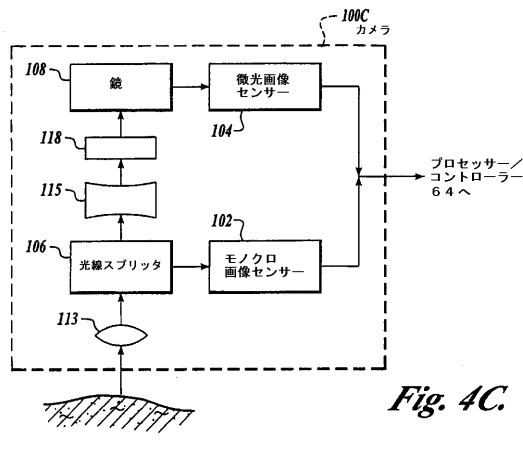


Fig. 4C.

【図 5】

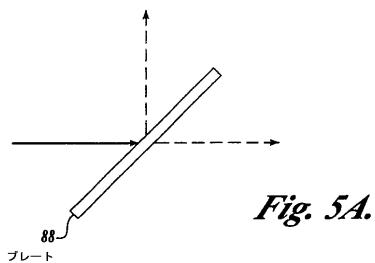


Fig. 5A.

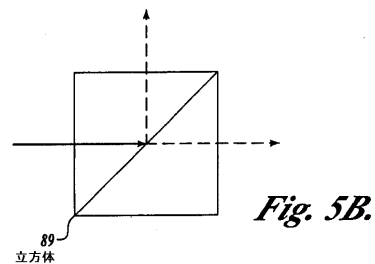


Fig. 5B.

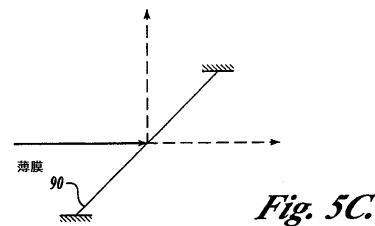


Fig. 5C.

【図 6】

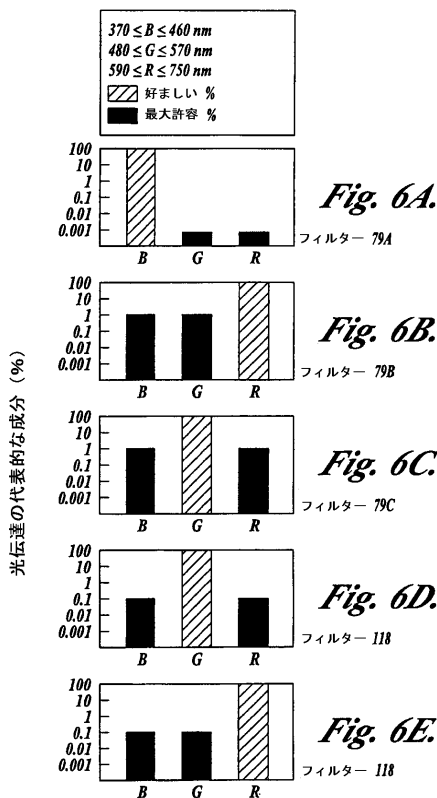


Fig. 6A.

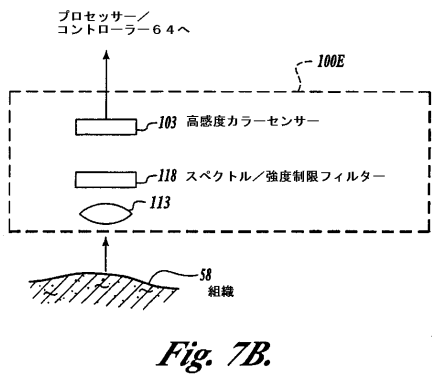
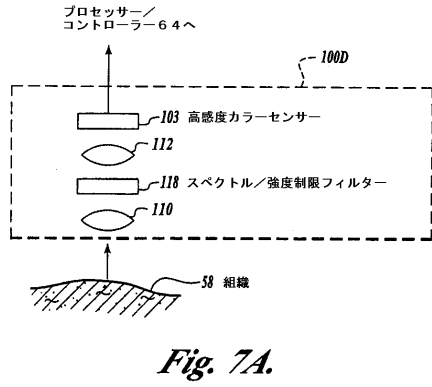
Fig. 6B.

Fig. 6C.

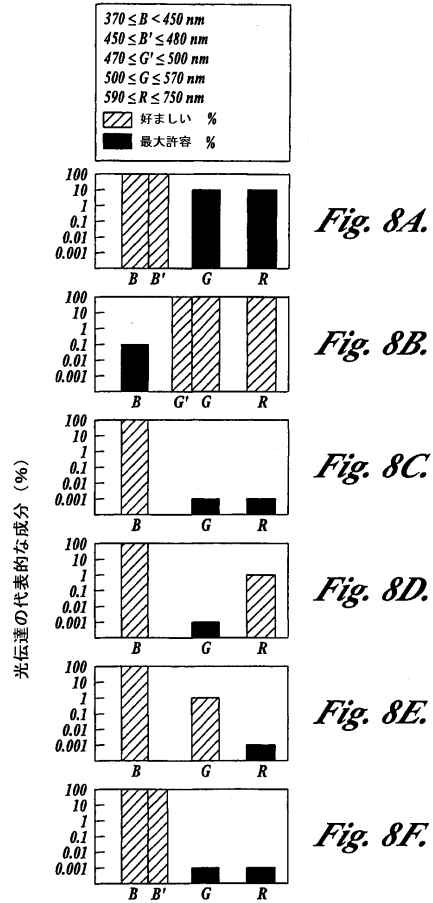
Fig. 6D.

Fig. 6E.

【 図 7 】



【 図 8 】



フロントページの続き

(72)発明者 クライン, リチャード ダブリュー.

カナダ国 ブイ6アール 1エヌ2 プリティッシュ コロンビア, バンクーバー, ウェスト
3アールディー アベニュー 4540

(72)発明者 フェングラー, ジョン ジェイ. ピー.

カナダ国 ブイ7ジー 2エル8 プリティッシュ コロンビア, ノース バンクーバー, ラ
ッセル アベニュー 1181

Fターム(参考) 4C061 BB01 BB08 CC06 CC07 FF40 FF47 GG01 LL02 LL03 MM01
MM03 PP01 QQ02 RR04 RR14 RR18 WW04 WW17

专利名称(译)	荧光内窥镜视频系统，无相机移动部件		
公开(公告)号	JP2005514147A	公开(公告)日	2005-05-19
申请号	JP2003559330	申请日	2003-01-13
[标]申请(专利权)人(译)	迪螺旋技术伊豆公司		
申请(专利权)人(译)	Jirikusu技术是公司		
[标]发明人	クラインリチャードダブリュー フェングラー・ジョン・ジェイ・ピー		
发明人	クライン, リチャード ダブリュー. フェングラー, ジョン ジェイ. ピー.		
IPC分类号	A61B1/00 A61B1/04 A61B1/06 A61B5/00 A61B6/00		
CPC分类号	A61B1/0646 A61B1/00009 A61B1/00186 A61B1/043 A61B1/0638 A61B5/0071 A61B5/0084		
FI分类号	A61B1/00.300.D A61B1/06.B		
F-TERM分类号	4C061/BB01 4C061/BB08 4C061/CC06 4C061/CC07 4C061/FF40 4C061/FF47 4C061/GG01 4C061/LL02 4C061/LL03 4C061/MM01 4C061/MM03 4C061/PP01 4C061/QQ02 4C061/RR04 4C061/RR14 4C061/RR18 4C061/WW04 4C061/WW17		
代理人(译)	夏木森下		
优先权	10/050601 2002-01-15 US		
其他公开文献	JP4444657B2		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

荧光内窥镜视频系统包括多模光源，其产生用于白光成像模式和荧光成像模式的光。来自光源的光通过内窥镜传输到观察下的组织。该系统还包括用于白光成像模式和荧光成像模式的微型相机，其可以放置在内窥镜的插入部分中或者放置在身体外部的内窥镜部分上它可能是附加的。该相机可用于白光成像模式和荧光成像模式，并且以其最小的形式不包括移动部件。

【 図 1 B 】

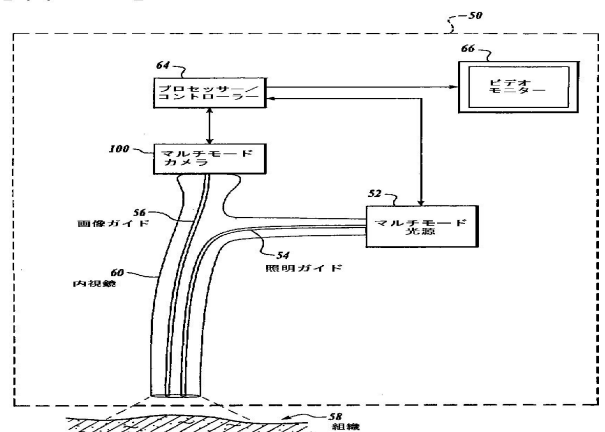


Fig. 1B.